



高崎市

なかのひろこ
中野紘子さん

かのあん
canoan／オーナー、座繰り・染織家

シルクを通して人と人との繋がり
を。新しいシルクの形を提案
する座繰り・染織家

群馬県高崎市生まれ。大学卒業後、東京都
内で就職。その後地元群馬に。

何か手に職をつけたいと思っていたところ、
上州座繰りと出会い、シルクの道に進むこと
を決意する。そこで、製糸技術を学ぶために、
現・碓氷製糸株式会社に入社。住み込みで、
製糸業と上州座繰りによる糸づくりを学び、
2003年 canoan を設立。上州座繰り
糸を提供するかたわら、草木染め、手織物の
技術を独学で習得する。2009年からは、
糸づくり、染め、織り全ての作業を自身で手
掛けたオリジナルのストールといった作品を
販売するようになる。2017年に LEXU
S NEW TAKUMI PROJECT 群馬
代表に選出され、上州座繰りの製糸技術を生
かしたオブジェ「S-HAKU・絲帛・」を製
作し、高評価を得た。2018年、高崎市本
町にアトリエをオープンし、オリジナル商品
の販売の他、上州座繰り、草木染め、手織り
のワークショップを開催している。
座繰り糸による、織りの公募展入賞。

（日本絹の里主催）



織作家も学びにくるという上州座繰り

Q 現在のお仕事をするようになったきっかけを教えてください。

大学卒業後、都内で仕事をしていましたが、退職し群馬に帰ってきました。手に職をつけたいと思っていた時、運命的に座繰りに出会ったんです。群馬は昔からシルクが有名でしたし、養蚕や製糸業は女性の仕事だったというところもいいなと思いました。

そこで、確氷製糸に住み込みで勤めました。何にも分からなかったため、最初の3カ月は昼間は工場で働き、夜は座繰りの勉強をしました。ものを作りたいという次のステップに向けて、1年半後に退職しました。

Q 糸づくりを学んだ後、染めや織りはどのように学んだのでしょうか？

染めと織りは、ちょうどその時に母がしていたので、一緒に勉強しました。あとは、職人の大先輩に教えてもらい、本なども読みながらですね。

Q このお仕事の魅力は？

糸から自分でデザインできるというところですね。糸から作り、染め、織りと工程が多く、大変な部分もありますが、それらの工程はひとつのものと考えていますし、楽しみながらやっています。

Q やりがいはどんな時に感じますか？

草木染の色やシルクの良さを理解して、お客様に商品を買っていただいた時です。座繰りから行うことなど、仕事の良さも感じています。

Q 大変なこともありますよね？

そうですね、仕事の難しさがあります。体調などに影響されずにコンスタントに安定したものを作り出すという作業の難しさです。また、ずっと同じでもダメで、お客さんが飽きてしまわないよう、新しいものも作っていかなければいけないところですね。

Q お仕事をしていて、これまでに印象に残っていることはありますか？

2017年LEXUS NEW TALKUMI PROJECTで、「SIHAKU・絲帛」を作ったことです。素材としての糸だけではない新しい生糸のプロダクトを生み出せました。いろんな職人さんと出会えたことも大きかったです。



まゆから糸を出す様子。



アトリエ兼店舗には、ストールやアロママユ、アクセサリーなどが並び。



「SIHAKU - 絲帛 -」。アロマを中に仕込むなど
実用性も高い。

Q 「SIHAKU・絲帛」につ いて詳しく教えて下さい。

座繰りの糸の交わりを日々見ていて、なんとなくこれを何か形にできたらいいなとは思っていました。織物や編み物の素材としての糸だけではなく、新しい生糸の使い方、糸としてそれで完成する新しいものを作れたのは大きかったです。日本の絹糸の需要は伸び悩んでいて、今までと同じようなことをしては、この先大変だと思っています。新しい何かを、と頭にはずっとあったんです。今後

は、「SIHAKU・絲帛」をブラッシュアップして、発展させたいと思っています。いろんな活用が見出せればいいなと思っています。

Q 今構想中の新しいアイデアは ありますか？

シルクとガラスをコラボレーションしたアクセサリー作品を作ってみたいと思っています。陶器や革とのコラボレーションなど、群馬県内の他の分野で活躍する職人さんと何かできればとも考えています。

それから、麻や綿などの天然繊維とシルクを織り込んだテキスタイルを制作し、ファッションやインテリアに活用できるアイテムを増やしていきたいと思っています。他の素材との組み合わせによって、シルクの可能性を広げていきたいです。



色の組み合わせも素敵なシルクストール。
昔ながらの高機で制作する。

Q 今後の目標は？

座繰り・染織家としてベースにあるものを末永く続けていきたいです。他の分野職人や作家さんとのコラボレーションも積極的になしたいと思っています。新しいプロダクトを制作していきたいと思っています。いろんな人に絹に触れてもらう機会を作りたい。女性の仕事の選択肢のひとつに、座繰りや織物がなれば素敵ですよ。

INFORMATION

canoan (かのあん)

群馬県高崎市本町64-1万平ビル3F

TEL : 0274-37-1687

HP : <https://www.atelier-canoan.com/>